

[様式1]

作成日 平成29年(2017年) 5月29日

部長	室長	課長	副課長	係長	係

作成者 (所属) スポーツ振興課 課
(氏名) 田中 太樹

平成29年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設

公の施設の名称	宝塚市立スポーツセンター、宝塚市立末広体育館				
所在地	宝塚市小浜1丁目1番11号、				
指定管理者	団体名	(公財)宝塚市スポーツ振興公社	指定期間	開始日	平成26年 4月 1日
	所在地	宝塚市小浜1丁目1番11号		終了日	平成31年 3月 31日
選定方法	非公募		評価実施年	指定期間 5年のうち 3年目	
施設設置目的	青少年の心身の発育並びに住民の体育・スポーツの振興を図ることにより、心身ともに健全な青少年、住民の育成に寄与することを目的とする。				
主な実施事業	①健康保持のための教室及び各種スポーツ教室の開催 ②社会体育施設の管理運営の受託事業 ③健康・スポーツに関する調査研究及び情報提供 ④その他目的を達成するために必要な事業				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用人数	千人	970	751	900	745	900	896	900	1104
b 施設利用率	%	65	68	65	65	65	68	65	73
c									
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区分		平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算
収入計	A	315,762	319,600	333,511	339,566	338,705
指定管理料		74,530	80,473	77,381	84,117	84,117
利用料収入	C	147,483	145,742	150,656	153,273	151,420
自主事業収入		80,402	83,196	94,056	91,174	94,150
その他		13,347	10,189	11,418	11,002	9,018
支出計	B	311,987	317,499	328,676	338,108	338,705
指定事業費		277,653	280,516	283,232	291,032	284,996
内、人件費	D	76,161	74,025	75,864	80,985	86,437
内、再委託料	E	112,760	112,363	119,326	106,486	106,727
自主事業費		34,334	36,983	45,444	47,076	53,709
事業収支	A-B	3,775	2,101	4,835	1,458	0
利用料金比率	C/A	46.7% %	45.6% %	45.2% %	45.1% %	44.7% %
人件費率	D/B	24.4% %	23.3% %	23.1% %	24.0% %	25.5% %
再委託費比率	E/B	36.1% %	35.4% %	36.3% %	31.5% %	31.5% %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。

・着色セルは、自動計算としている。

・事業費は、前年度以前の決算を記載する。また、最右欄には、今年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	A	A
		外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守しているか。	A	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされているか。	A	B
	管理記録	協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A	B
		業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
連絡調整	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A	
	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	B	
緊急対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A	
	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	A	A	
財務状況	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A	B	
	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	A	
《 総括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	B	
②サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	A
	事業運営	言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	B
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	B
		施設の目的に添った自主事業を実施している。	A	B
	維持管理	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	A	A
	環境配慮	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
協定書等に従い、適切に修繕を行っている。		A	A	
広報活動	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A	
苦情等対応	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	B	
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	B	
利用者アンケート	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A	B	
	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B	
利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	A	A	
《 総括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	B	
③安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
《 総括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設 項目】	A	A	
指定管理者所見 (成果、課題等)	お客様に安全で快適に利用していただき、満足度の高いスポーツ施設を維持するため、利用者の日々の声やアンケートでの意見などを参考に設備の保守管理や適切な改修、修繕に努めています。一方、利用者ニーズに応えるとともに、会社の自立した経営を確保するため、限られた時間枠の中で積極的に自主事業を展開し、指定管理受託3年目においても単年度で黒字決算を実現できています。			
施設所管課所見 (成果、課題等)	予算執行状況においては、経費の節減や自主事業の実施による財源確保により、昨年に引き続き黒字決算である。特に、自主事業による市民スポーツ及びスポーツレクリエーション教室は、市民の多様なニーズに対応するため、様々な教室を実施しており、高く評価できる。施設管理の面においては、利用者が安全かつ快適に利用することができるよう、設備等の点検や補修を継続的に行っており、施設維持管理の適切な執行に努めているものと評価できる。			
前年評価	A	総合評価	A	

※評価区分

評価基準:	A (優良) = 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	B (良好) = 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C (要改善) = 協定書、仕様書等に定める要求水準を満足していない。
《総括》:	A (優良) = 評価基準項目が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B (良好) = 優良、要改善以外の評価
	C (要改善) = 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	A (優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B (良好) = 優良、要改善以外の評価
	C (要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。